

消費者コーナー

スマートフォン充電中の 発熱・発火に気を付けて！

スマートフォンは、従来の通話やメール機能に加えてパソコンのように様々なソフトウェアがインストールされており、その機能性や利便性の高さから、近年急速に普及が進んでいます。

便利である一方、国民生活センターには、スマートフォンに関するトラブルの相談が多数寄せられており、製品の不具合に関する相談も少なくありません。相談の中には、充電中に充電端子が焼損してしまったり、使用中や充電中に本体が発熱したりする事例などがあり、中にはやけどを負った事例も寄せられています。

事例

【1】充電中のスマートフォンを握ったまま就寝したところ、手に痛みを感じて目が覚めた。赤く腫れて痛みが治まらなかつたため、病院を受診すると、低温やけどと診断された。

【2】スマートフォンを布団の上に置き、充電しながら就寝した。明け方熱さ

で目を覚ますと、スマートフォンが発火しており、布団に火が移っていた。

アドバイス

◆充電中はスマートフォンの電池に大きな負荷がかかることで大量の熱を発生することがあります。充電中のゲージなどの原因となります。充電中のゲームや動画再生などを行うとさらに負荷が大きくなるため注意が必要です

◆スマートフォンの充電端子にほこりや水分が付着したまま充電を行うと、ショートしたような状態になり、接続部分から発火する可能性があります。充電時に異様に熱くなったり、異臭がしたりするなど異常を感じた場合、充電をすぐに中止し、お使いの携帯電話会社へ問い合わせてください。

消費生活相談センター

毎週月・火・水・金曜日

午前9時30分～午後4時
(正午～午後1時は昼休み)
場所 市役所2階消費生活相談室

多重債務問題に関する 無料法律相談窓口

毎月第3木曜日

午後1時～4時(一人30分程度)

※予約申し込みが必要です。

〈問い合わせ・相談予約申し込み先〉

観光経済課 商工・農政係

(☎ 内線440)

地球にやさしいエコライフ 146

問い合わせ 生活環境課環境保全係(☎ 内線307)

ちょっとした工夫で 省エネ活動！～冬の暖房～

寒くなると暖房のため色々な家電を利用することが多くなってきます。そのため、消費電力が増えてしまう冬の時期ですが、ちょっとした工夫で省エネになり暖房効果も高めることができます。

エアコン



フィルターが目詰まりをすると消費電力が高くなってしまいます。月に1～2回はフィルターの掃除を行うことで電力の無駄を省くことができます。また、風向板を下向きに調節することで効果的に部屋を暖めることができます。

ヒーター



ヒーターを窓から離れた場所に置くと、温かい空気が窓際で冷やされてしまい暖房の効率が悪くなります。窓を背にして置くことで暖房の効果を高めることができます。

電気カーペット

カーペットを床にじかに敷いてしまうと、熱が床に逃げて暖房効率率が下がります。床とカーペットの間に断熱マットを敷くことで省エネになります。また、部屋の広さにあった大きさのカーペットを選ぶことも大切です。



電気こたつ

こたつ布団だけでなく上掛け布団を一枚足すことで暖房効率を高めることができます。座布団も一緒に使うことでさらに効率を高めることができます。



お出かけや就寝のため家電の運転をやめる場合は早めのOFFを心がけましょう。室温は急には下がりません、お出かけや就寝の15分前にOFFにするのがコツです。また、暖房器具に頼りすぎずに服装を工夫することも大切です。

出典：資源エネルギー庁 省エネ性能カタログ